

The 6th TAKEHARA Comprehensive Plan

TAKEHARA

第6次竹原市総合計画

後期基本計画 2024～2028

元気と笑顔が織り成す
暮らし誇らし、
竹原市。



竹原市

The 6th TAKEHARA Comprehensive Plan

TAKEHARA

第6次竹原市総合計画

後期基本計画 2024～2028

元気と笑顔が織り成す
暮らし誇らし、
竹原市。

「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向けて



市長あいさつ

本市は、風光明媚で豊かな瀬戸内海の美しい海と緑にあふれる山々や、安芸の小京都と呼ばれる古い町並みや歴史、文化などの多様な地域資源と、空港や新幹線、高速道路など主要な交通体系への近接性など、様々な特徴を有しています。

本市では、これらの様々な特徴を活かし、持続可能な都市として発展していくため、「第6次竹原市総合計画基本構想」において、10年後の目指す将来都市像を「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」と定め、前期基本計画では、「平成30年7月豪雨災害

竹原市早期復旧・復興プラン」及び「たけはら元気プロジェクト」を重点的に取り組む施策として位置付け、災害からの早期復旧復興や本市の財産である「人」と「地域資源」を活かした、まちの個性や魅力の創出に取り組んでまいりました。

一方、国内では、本格的な人口減少時代が到来する中で、世の中がコロナ禍の影響から脱し、再び東京圏一極集中の傾向が高まるなど、地方自治体には非常に厳しい流れが加速しており、自主性、自立性を高め、個性豊かで活力に満ちたまちづくりがより一層求められております。

今後は、目指す将来像の実現に向け、前期基本計画の各種施策の取組をさらに深化させるとともに、新たな取組に挑戦し続け、本市の持つ個性を活かした持続可能で魅力あるまちづくりを進め、豊かな市民生活の実現を目指してまいります。

令和6（2024）年3月

竹原市長

今 菜 敏 考

市章

昭和 38 (1963) 年制定



竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴しています。

市民憲章

昭和 43 (1968) 年制定

- 郷土の自然を愛し、平和な美しいまちをつくりましょう。
- きまりを守り、信じあえる住みよいまちをつくりましょう。
- 働くよろこびをもち、豊かなまちをつくりましょう。
- 老人をうやまい、青少年の夢を健やかに育てましょう。
- 健康なからだ、きれいな心で明るい家庭をきずきましょう。

市の花

昭和 53 (1978) 年選定



梅

清楚にして優雅な品性を保ち、早春に力強く伸びる新しい枝と共に咲き誇る花は、その香りと共にまさに市民性を象徴するにふさわしいものです。

市の木

昭和 53 (1978) 年選定



竹

まっすぐ伸びて信念を表し、市民みんなが仲良くつながり合って成長し、葉は広く広がり、その緑は平和を象徴するものです。

第1部 序論

第1章 後期基本計画の策定にあたって	2
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の構成と期間	2
第2章 将来の人口見通し	3
第3章 後期基本計画策定の背景	4
1 前期基本計画の総括	4
2 本市を取り巻く社会情勢の変化	8
3 後期基本計画における取組の考え方	12
基本計画の構成	14
【参考資料】 市民満足度調査 (R4 と前期計画策定時) の比較グラフ	16

第2部 後期基本計画

将来像1	自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が 人々を魅了する賑わいのあるまち	25
目標像1	竹原らしさを感じるまちに 人々が集まり賑わいが生まれている	25
1	自然環境	26
2	歴史・文化財	28
3	景観	30
4	観光・交流	32
5	移住・定住	34
6	コンパクトな市街地とネットワークの形成	36
将来像2	“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、 世界中で活躍する人々を輩出するまち	39
目標像2	子供たちが夢の実現に向け 挑戦できる環境が確保されている	39
1	子ども・子育て	40
2	学校教育	44
目標像3	市民一人一人が自ら学び、 様々な場面で協力しながら活躍している	47
1	生涯学習	48
2	協働のまちづくり	50

将来像 3	誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち	53
-------	---------------------------------------	----

目標像 4	様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、 活気に満ちている	53
1	雇用・労働	54
2	商工業	56
3	農林水産業	58

目標像 5	誰もがお互いに尊重し合い、 いつまでもはつらつと活躍している	61
1	人権推進	62
2	男女共同参画社会	64
3	健康づくり	66
4	高齢者福祉	70
5	障害者福祉	72
6	地域福祉	74

将来像 4	瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、 誰もが安全・安心で快適に生活できるまち	77
-------	--------------------------------------------	----

目標像 6	生活の基盤が整備され、 快適に暮らしている	77
1	道路網・港湾	78
2	住環境	80
3	上水道・下水道	82
4	循環型社会	84

目標像 7	市民が支え合う絆を大切にし、 安全・安心な生活環境が確保されている	87
1	防災・減災	88
2	交通安全・防犯・消費者行政	92

第3部 人口ビジョン

第1章	人口ビジョンの改訂にあたって	96
1	人口ビジョンの位置付け	96
第2章	人口の現状分析	97
1	人口の推移	97
2	人口動態	100
第3章	人口の将来展望	120
1	人口の現状から見える課題	120
2	目指すべき将来の方向性	121
3	将来展望	122

第4部 総合戦略

1	竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定にあたって	126
2	戦略の推進について	127
3	第2期竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況について	128
4	目標の設定について	129
5	施策の方向について	130
	基本目標1 産業を活性化させることで賑わいをつくる	131
	基本目標2 竹原への新しいひとの流れをつくる	135
	基本目標3 結婚・出産の希望をかなえ、 子育てしやすい環境をつくる	139
	基本目標4 多様な人々がかかわり、 竹原の魅力・個性を磨き、元気なまちをつくる	143
	【参考】第2期竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り	150

第5部 基本構想

1	まちづくりの基本認識	158
2	10年後の将来都市像	160

第6部 資料編

1	竹原市総合計画審議会	164
2	計画策定の経緯	166
3	総合計画に関する参考資料	167
4	用語解説	186